

予算等審査 特別委員会

委員長 加藤 和彦
副委員長 沼沢 しんや

本委員会は、全議員54人で構成され、委員は所属会派の議員数に応じた持ち時間内で、各会計・費目ごとに一問一答形式で質疑を行います。
委員会は、2月27日から11日間開催され、延べ95人の委員が約42時間にわたり審査を行いました。主な質疑と答弁の要旨等を会派ごとに掲載します。

自由民主党

猪又 隆広 委員

○放課後の学校校庭での遊び場づくりとフレリリター配置
○六郷地区の公園リニューアル
○屋内遊び場の設置検討を
○時代に合わせ駐車場増設義務の緩和と条例の見直し検討を
○沖野・六郷地区の交通課題解決への取り組みを進めよう
○六郷東部地区の地域交通推進
○難聴児支援のためワイヤレスマイクを学校購入とすべき
○防災環境都市として子どもたちへ新たな防災学習導入を。
○防災に自ら取り組み子どもを育てていけるよう進めたい。
○自転車利用者へのルール周知の必要性と方法の工夫
○キッチンカーやゲストハウス整備等で昼夜を問わない長町商店街エリアの回遊性向上を
○先進事例の研究・社会実験等を通じ、実現の可能性を検討していく。
○スタートアップ戦略等 都市間競争で重要性が増す経済を専任する副市長の設置を
○ひきこもり者への段階的な自立支援や就労支援等の強化を
○育児ヘルプ家庭訪問事業の委

託料増額と利用促進および産後ケア事業と併せての拡充を
○階層横断の保育・研修の拡充
○きょうだいの延長保育助成を
○地下鉄外国語表示に繁体字を
○片平市民センターの改修に合わせ自然展示コーナー拡充を
○ことも宇宙館の復活を
○横断歩道にトリックアートを
○東北学院大学五橋キャンパス開学で地域住民や大学の不安解消への地学連携の役割
○まちづくり活動に参加する若者と行政の意識の差の解消策
○市民局を進める若者が活躍するまちづくり事業の見直し
○寒波により市立学校で起きた水道管凍結の諸問題と対応策
○科学館の全面展示リニューアルのコンセプトと具体的内容
○西部 恒司 委員
○4病院再編で開かれた場での議論は市民等が納得できるように説明が尽くされるべき
○印鑑条例改正でマイナンバーカードでの印鑑証明書取得を
○コロナ禍からのインバウンド需要回復へトップセールスを
○区役所で電子入札の導入を
○人手不足等で苦境の地元建設企業への本市の関わり方
○スタートアップ戦略等 都市間競争で重要性が増す経済を専任する副市長の設置を
○ひきこもり者への段階的な自立支援や就労支援等の強化を
○育児ヘルプ家庭訪問事業の委

市民フォーラム仙台

佐藤 わか子 委員

○作並温泉の宿泊客がニッカウキスキー仙台場や定義を周遊する事業の実現を求める
○作並地区に新たな魅力を
○外国人観光客に人気の宮城蔵王キツネ村との新商品創出
○新たな不登校を生まないための取り組みの拡充
○魅力ある学校への推進に向けた児童生徒の現状把握
○安孫子 雅浩 委員
○民生委員児童委員は定数割れ地区が多く大きな課題である
○土木費と健康福祉費の予算割合はここ20年間で大きく変化
○知名度不足が課題である仙台・東北の積極的な向上戦略
○「規模の適格性」と「戦略性」が今後の市政運営の鍵

公明党

会計・費目別の主な質疑項目(総務費)

○荒浜地区に防災の先進技術のスタートアップ拠点を
○本市の財政状況の見える化(市民費)
○特殊詐欺被害対策でごみ収集車へのステッカー掲示状況と今後の啓蒙の取り組みを伺う。
○令和4年度末までに全収集車に掲示する準備をしている。今後も最新の情報を入手しつつ、継続的に啓蒙に取り組む。
○音楽ホール周辺一帯を開発し、飲食店やホテルの誘致を
○困難を抱える女性の支援充実
○男性のための電話相談の周知
○自転車通行空間の表示改善
○18歳以下ヘルメット着用義務(健康福祉費)
○母子健康手帳機能の電子化
○国への動向等を注視しつつ、さらなる利便性向上を図る。
○子ども食堂への助成は減額せず食料費など全面支援すべき
○3歳児健診への屈折検査導入
○産後ケア事業の利用料軽減
○いずみ墓園の「台葬式墓所」の周知強化、手続きの電子化
○高齢者緊急通報システムの周知強化と携帯電話への対応
○ひきこもりへの理解促進を(経済費)
○地元中小企業の海外展開支援
○秋保大滝・二口エリアの魅力向上とトンネルの早期整備
○土木費
○地域交通のさらなる予算拡充など今後の取り組みを伺う。
○地域交通の課題対応への地域の機運醸成に努め、地域主体の取り組みを力強く支援する。
○七郷団地周辺に遮音壁設置を(教育費)

せんだい自民党

田村 勝 委員

○津波を伴った地震被害想定調査
○避難先として東部道路活用を
○津波避難施設の新規確保
○東部地域の移動軌跡地利活用
○東部沿岸部ににぎわい拠点を
○市街地調整区域の規制緩和
○白鳥地区の雨水排水施設整備
○若者自立・就労支援事業と児童養護施設退所者への支援
○(仮称)仙台でも財団の具体的な事業内容
○児童相談システムの構築とAI等を活用したICT化への取り組み方針
○不登校児童生徒数は増加し2千人を超え、いじめ認知数は約1万2千件で、人数の割合では政令市ワースト2。教員が多忙感も解消されな。苦

改善状況と今後の取り組み
○犯罪被害者支援条例制定に関する新年度の予算が計上されていないが真意を伺う。
○見舞金に加え支援内容や体制、制定手法を検討中である。
○小中学校における通学かばんやランドセル等の重さへの現状認識と改善策について
○救急車の高速道路利用円滑化
○投票率向上に向けた広報
○タブレット導入による当局のペーパーレス化と圧縮経費

改善状況と今後の取り組み
○犯罪被害者支援条例制定に関する新年度の予算が計上されていないが真意を伺う。
○見舞金に加え支援内容や体制、制定手法を検討中である。
○小中学校における通学かばんやランドセル等の重さへの現状認識と改善策について
○救急車の高速道路利用円滑化
○投票率向上に向けた広報
○タブレット導入による当局のペーパーレス化と圧縮経費

改善状況と今後の取り組み
○犯罪被害者支援条例制定に関する新年度の予算が計上されていないが真意を伺う。
○見舞金に加え支援内容や体制、制定手法を検討中である。
○小中学校における通学かばんやランドセル等の重さへの現状認識と改善策について
○救急車の高速道路利用円滑化
○投票率向上に向けた広報
○タブレット導入による当局のペーパーレス化と圧縮経費

○国民保護実働訓練は市民も参加する実質的な訓練で、市長は東日本大震災での対応の経験を生かし、想定外にも対応できる災害対策を
○想定外に対応できる職員育成も考慮し災害用BCU運用を
○女性防火クラブへの支援を
○先導的資機材の導入による負担軽減やデイトム救急隊の増隊等で救急体制の強化を
○隊員の負担軽減等の観点



熱中症等で急激に高まる救急需要に対応するため、救急体制の強化を

○燃料価格や物価の高騰で市民生活は厳しい。令和4年度は流通業等への支援が抜け落ちており、令和5年度検討を。
○新型コロナ後遺症対策に力を。
○泉区の高齢化に危機意識を。
○仙台若者に選ばれる都市に子育て施策には経済支援を。
○市街地調整区域の見直し。
○紫山コミュニティセンターを。
○加藤 けんじ 委員
○ナノテラスを中心としたリサーチコンプレックス形成
○企業誘致に向けた優遇制度
○初代政宗公「胸像」の移設
○緑化フェア期間中のキッチンカー活用と会場周辺環境整備
○中学校活動の地域移行
○中央体大会への地域スポーツクラブの参加は十分な検討を

○泉区人口が47年後に半減する見通しと区役所新庁舎の整備
○小野寺 健 委員
○制度変更による復興公営住宅家賃減免世帯の負担の軽減を
○老朽化した県営住宅の廃止に伴う本市公営住宅への影響
○公営住宅のストック活用と孤立の予防に向けた取り組み
○南小泉中学校に開設する夜間中学における環境整備の充実と生徒の学び直しの支援
○細野 たかし 委員
○(仮称)仙台でも財団がひと・まち交流財団の児童館事業を担う可能性の説明を
○事業の検討はさまざまな立場の声も伺いつつ進める。
○児童館・児童クラブのあり方検討部会での現場意見の収集
○児童館・児童クラブ業務支援システムの導入
○郷古 正太郎 委員
○市中心部にアーバンポーツができる公園の整備を。
○先行事例を見ながら整備について検討を進めていきたい。
○子どもポールの遊び場確保
○グラウンドゴルフ利用の周知
○公園トイレ改修の加速化
○本市ゆかりの漫画やアニメ

○小規模保育事業の職員配置
○民生委員活動費を増額せよ
○選挙事務や投票のデジタル化
○オンラインサードマップの普及と活用
○防災ハザードマップの全戸配布
○せんだい災害VRの活用
○新幹線沿線の騒音問題の改善

○医療的ケア児の通学支援
○西多賀小学校通学路安全確保
○ひぐち のりこ 委員
○子ども参加の児童館づくりが肝要だが、所見を伺う。
○児童等から直接意見を収集し、検討の議論に反映する。
○パートナーシップ制度の導入
○マイナンバーカードと図書館カードのひも付けの問題点
○米の需要拡大と多様な食文化



児童館での子ども参加の様子

○児童館での子ども参加の様子
○児童館での子ども参加の様子
○児童館での子ども参加の様子

○児童館での子ども参加の様子
○児童館での子ども参加の様子
○児童館での子ども参加の様子

○児童館での子ども参加の様子
○児童館での子ども参加の様子
○児童館での子ども参加の様子

令和5年度 市税の内訳

	当初予算額(百万円)	構成(%)	対前年度比(%)
市民税	111,328	49.2	101.6
固定資産税	82,346	36.3	104.9
軽自動車税	2,018	0.9	104.2
市たばこ税	8,039	3.5	112.9
鉱産税	3	0.0	100.0
特別土地保有税	0	0.0	0.0
入湯税	170	0.1	124.1
事業所税	5,728	2.5	99.0
都市計画税	16,992	7.5	105.5
合	226,624	100.0	103.4

日本共産党

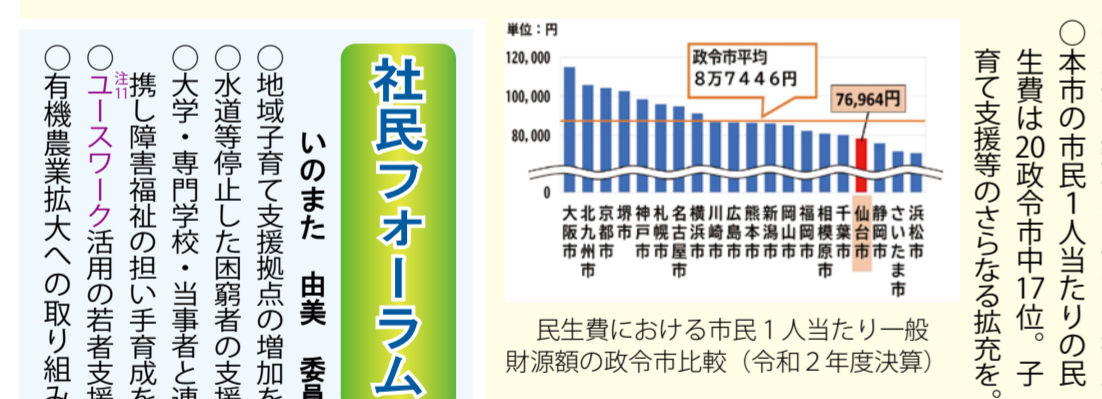
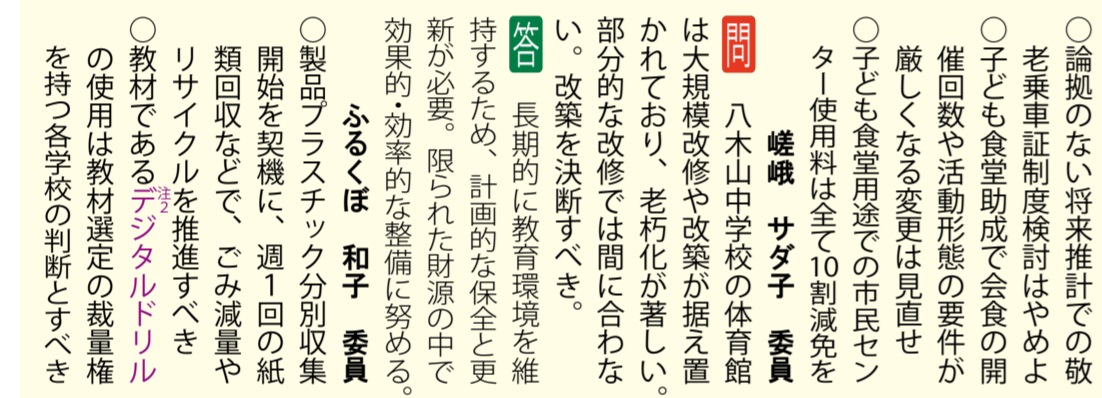
高見 のり子 委員
○論議のない将来推計での敬老乗車証制度検討はやめよ
○子ども食堂助成で会食の開催回数や活動形態の要件が厳しくなる変更は見直し
○子ども食堂用途での市民センター見直し
○八木山中学校の体育館は大規模改修や改築が据え置かれており、老朽化が著しい部分的な改修では間に合わない。改築を判断すべき。
○長期的に教育環境を維持するため、計画的な保全と更新が必要。限られた財源の中で効果的・効率的な整備に努める。
○ふるくぼ 和子 委員
○製品プラスチック分別収集開始を契機に、週1回の紙類回収などで、ごみ減量やリサイクルを推進すべき
○教材であるデジタルドリルの使用は教材選定の裁量権を持つ各学校の判断とすべき

○海浜エリアには災害危険区域や現地再建地区が含まれ、土地利用に課題がある。地域住民主体のまちづくりを組織横断的に支援すべき。
○震災遺構の職員は専門職の枠で正職員として採用し、震災の教訓を語り継ぐよう取り組む。
○海浜エリアの防犯対策強化を
○高村 直也 委員
○南仙台駅北側空き地は今後柔軟に活用できるよう、当面の間は平場駐車場として貸し出し、安易に売却すべきではない。
○市有財産の積極的な有効活用を重要であり、引き続き有効な活用策を検討していく。
○SSWの処遇改善と早急な増員を求める。
○令和5年度より給与水準を上げる。増員も検討する。
○商店街の職員を支援する施策を
○本市の教職員の計画の採用
○正規の教員1人当たりの民生費は20政令市中17位。子育て支援等のさらなる拡充を。

○学校給食での食育アレルギー対応の拡充を求めよう。
○要望に可能な限り対応できるように、設備面の整備や教職員の資質向上に努める。
○化学物質過敏症の周知拡充
○市営住宅の役割と住宅政策
○自転車走行環境の向上策
○辻 隆一 委員
○青葉山エリアおよび海浜エリアでの回遊性向上を
○教員不足の現状と体制整備
○SSWの人材確保
○民生委員の欠員補充、活動費増額と協力員制度の周知を
○介護予防・日常生活支援総合事業の内容について
○在宅医療の充実について
○小山 勇朗 委員
○不登校の要因として挙げられる無気力や不安、生活リズムの乱れ等に対する解決策をSSWへの相談者増加を考え、増員と配置拡充を
○中学校の部活動地域移行・民間委託を進めるのか
○移行できる学校は何か

市民と未来のために

伊藤 ゆづた 委員
○音楽ホール整備費試算が約218億円から約350億円に増えた。上昇分約130億円で、保育や習い事等の支援事業ができる。整備費を圧縮し、予算を子育て支援に振り向けよう。
○予算案は限られた財源の中で最大限の効果を得られるよう必要性等を判断して編成しており、新たな事業の実施については社会情勢等を踏まえて適切に判断していく。



市民フォーラム

いまた 由美 委員
○地域子育て支援拠点の増加を
○水道等停止した困窮者の支援
○大学・専門学校・当事者と連携し障害福祉の担い手育成を
○コースワーク活用を若者支援
○有機農業拡大への取り組み

令和5年第2回定例会は、5月25日(木)開会の予定です。

他の自治体で使用されている教育バウチャーのクーポン券

令和5年度 各会計別歳出予算総括

会計	区分	当初予算額(百万円)	対前年度比(%)	
一般会計	一般	614,651	103.7	
	都市改造事業	1,002	90.2	
	国民健康保険事業	94,120	101.6	
	中央卸売市場事業	3,132	102.5	
	公共用地先行取得事業	929	99.0	
	公債管理	121,344	102.5	
	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	267	164.5	
	新墓園事業	723	89.0	
	介護保険事業	84,568	100.9	
	後期高齢者医療事業	14,265	102.6	
	計	320,350	101.7	
特別会計	下水道事業	67,631	103.6	
	自動車運送事業	14,700	114.2	
	高速鉄道事業	37,192	106.6	
	水道事業	49,556	104.2	
	ガス事業	62,610	131.6	
	病院事業	22,402	104.3	
	小計	254,091	110.7	
	企業会計	計	1,189,092	104.5

